

車イスってどんなもの？ in 段上小学校

施設名 にしのみや聖徳園

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

昨年、段上小学校へ車イスの使い方講座に行き、生徒や先生から「是非、来年も講座に来てほしい」と言われました。福祉教育担当の先生と打ち合わせを行い、今年も実施することとなりました。

「ブレーキを止める」「フットレストに足を乗せたまま、立ち上がらない」といった基本動作を繰り返し練習してもらうことで、実際に車イスを使う時に役立ててもらいたいと思いながら、実施しました。

② 取り組みの内容



平成28年
12月6日、
段上小学校
4年生全3
クラスを対
象にして、1
時間目から

6時間目までの授業の時間に生活相談員が赴き「車イスって、どんなもの？」という出前講座を行いました。1時間目にスライドショーを見ながら、また実際に車イスに触れてもらいながら、車イスの使い方の説明を行いました。2時間目には、校内を車イスで散策しながら実際の車椅子の使い方の学習を行ってきました。1時間目に車イスの使い方を説明している間、生徒は静かに集中して話を聞いていました。また、職員が質問がないか尋ねると、生徒たちは次から次へと質問をしてくれていました。2時間目に、車イスに乗り校内を散策する時間では、1時間目に教えた「声かけ」を大切にしてくれており、介助している生徒が「これから運動場に出ます

ので、少し揺れますよ」と、車イスに乗っている生徒に声をかけていました。

③ 活動の効果・課題



講座が
終わって
から、生徒
たちが手
書きで感
想文を送
ってくれ

ました。その中で「使い方を知れたので、車イスに乗っているおじいちゃんの手伝いをしました」というものや「町で車イスに乗っている人が困っていたら、声をかけてみようと思います」という感想がありました。今回、講座に行き、伝えたのは主に車イスの使い方ではありますが、生徒たちに「人を思いやる気持ち」が芽生える手伝いができたのが一番の成果だと思います。課題としては、校内散策を楽しむだけでなく、どうしてこの場所をまわったのか等を、職員同士が統一した説明ができるように打ち合わせを増やすことが挙げられます。

④ 今後の展開・夢

来年以降も継続して、段上小学校への講座を行っていき、その年に福祉教育を受ける生徒が、どのようなことに興味をもっているか等を事前に聞き取り、講座内容に反映できるようにしていきたいです。

また、小学校だけでなく、社交ダンスなど公民館で実施している地域の活動の一つとして実施できるように取り組んでいきたいです。